

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 子育て支援について （25分）</p> <p>子ども・子育て支援法が改正され、今年10月から幼児教育・保育の無償化がスタートします。</p> <p>国立研究機関や政府の調査によると、若い子育て世代が理想の子供の数を持たない最大の理由は、子育てや教育にお金がかかりすぎるからであり、教育の負担軽減を求める声が多いのが現状です。</p> <p>今回の無償化は、子育て世代の経済的負担の軽減を通じて少子化に歯止めをかけていくことが期待されます。</p> <p>しかし一方で、ニーズの増加で教育・保育の質の低下や、保育士不足の深刻化を懸念する声もあります。</p> <p>大切な子供を育てていく環境を、さらに充実させていくために、以下の質問を致します。</p> <p>(1) 無償化の対象者数  (2) 待機児童の現状  (3) 保育の質を維持する為の取組  (4) ファミリーサポートの利用状況  (5) 多子世帯への経済的支援  (6) こども医療費助成制度の窓口払いの拡充</p>	市長
<p>2 風疹拡大防止について （15分）</p> <p>風疹は、くしゃみや咳を介して感染し、発疹や発熱などが現れます。重症化することがあるだけでなく、妊娠初期の女性がかかると胎児にウイルスが感染し、出生後に目や耳・心臓などに障害が生じる「先天性風疹症候群」を発症するおそれがあります。</p> <p>妊娠中の女性は、予防接種を受けられません。それだけに身近な家族や、職場の同僚などが感染防止に努めることが重要です。</p> <p>昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性は、風疹の予防接種機会がなく、女性や他の世代の男性に比べ、風疹の抗体</p>	市長

保有率が低いとされています。

風疹の感染拡大を防ぐため、全国の市町村では40歳～47歳の男性に対して、今年春から夏にかけて抗体検査や予防接種の無料クーポン券が届けられています。

市内においても無料クーポン券の配布が始まると、4月号の広報紙に案内が掲載されていました。

風疹拡大防止へ向け、以下の質問を致します。

- (1) 鶴ヶ島市の取組について
- (2) 抗体検査及び予防接種の状況
- (3) 接種率向上に向けた取組